

障害者週間 12月3日～9日

おおた みんなのつどい プロジェクト

しょう ひと ひと
障がいのある人もない人も
え がお ち いき かつ どう
笑顔になる地域活動



はねびん

©大田区



はじめに

大田区しょうがい者の日のつどいは、昭和56年に第1回を開催し、毎年開催してきました。

令和2年度は、コロナ禍の中、第40回を映像形式で開催しました。令和3年度には、開催形式を検討し、令和4年度から「[おおた みんなのつどいプロジェクト](#)」として新しい形で、障がい理解啓発事業に取り組んでいます。

この報告書は、「おおた みんなのつどいプロジェクト表彰」を受賞された「障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動」を冊子にまとめたものです。

こうした活動が広がり、一人ひとりに心のバリア(障壁)のない社会をめざしてまいりましょう。

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

…………目 次…………

おおた みんなのつどいプロジェクト表彰

- おおむすびPR・自主生産品の購入・販売協力 P 2
- おおむすび商品の購入・販売協力 P 4
- おおむすび縁市場等でのおおむすび施設への販売協力 P 6
(販売商品提供等)
- 自主生産品(おおむすび商品)の開発協力 P 8
- 第40回大森東福祉園まつりにボランティアで参加 P 10
(ゲームコーナー等を担当)
- 第40回大森東福祉園まつりにボランティアで参加 P 12
(食堂・喫茶コーナーの販売を担当)
- 盆踊り大会での障がい者施設の出店協力 P 14
(主催:馬込大盆踊り大会実行委員会)
- 聴覚障がいの理解啓発活動 P 16

【参考資料】

- 「おおむすび」障がい者福祉施設の商品 P 18
- おおた みんなのつどいプロジェクト表彰実施要綱 P 19

おおむすびPR・自主生産品の 購入・販売協力

1 団体名

明治安田生命 品川支社 蒲田営業所

2 活動内容

大田区と包括連携協定している明治安田生命とは、区役所内各部署との連携を進めています。明治安田生命の品川支社蒲田営業所は、おおむすびの事務局がある志茂田福祉センターに近く、大田区社会福祉協議会の紹介を受け、おおむすびの販売会等で血管年齢の測定等を行い相乗効果で集客を伸ばせないかなど、イベント開催時に販売協力等をしたいたいの申出があり、地域貢献の一環として、「おおむすび」をいろいろな形で応援していただいております。

(1) おおむすびPR

明治安田生命が参加するイベント等において、積極的におおむすびのチラシ配布等おおむすびの紹介に尽力いただきました。

◇令和6年度 2 件(他の注文販売に波及)

- ・大森第三小学校 開校100周年記念事業 大三100フェス
- ・水門通り商店街イベントマルシェ

(2) 自主生産品の購入協力

明治安田生命品川支社において、おおむすび縁市場を開催、他にもスローギフト(g7)をはじめおおむすび商品を多数購入いただきました。

◇令和5年度 11 月 13 日に縁市場開催(お弁当を含め、おおむすび商品の購入多数)

(3) 販売協力

おおむすび縁市場での販売スタッフボランティアやおおむすび出展イベントへの同時参加により、イベントの充実につながっています。また、販売スタッフボランティア従事の際に、改善点等をご意見いただき、現在の効率的な運営方法に変更につながっております。

◇令和5年度 2 件

- ・10 月 5 日～6 日おおむすびグランデュオ蒲田縁市場に販売スタッフボランティア 2 名参加していただきました。
- ・2月 17 日～18 日にグランデュオ蒲田縁市場会場で、ベジチェックコーナー(※1)を設置、販売スタッフボランティア 2 名参加し、イベントを盛り上げていただきました。

	<p>◇令和6年度 1 件</p> <p>・10月 20 日おおむすび多摩川清掃工場環境フェア 2024 縁市場にベジチェックコーナーを設置、販売スタッフボランティア 2 名参加していただきました。</p> <p>※1 ベジチェックは、皮膚のカロテノイド量を測定し野菜の摂取レベルと推定野菜摂取量を表示し、食生活改善の意識向上に役立ちます。</p>
<p>3 活動を通して</p>	
	<p>○おおむすびのPR活動の一環としても、とても役立っています。</p> <p>○おおむすび商品の理解促進に貢献しています。</p> <p>○売上につながり、利用者の工賃向上及び社会参加に寄与しています。</p>
<p>4 推薦者</p>	
	<p>大田区生産活動支援施設連絡会（おおむすび連絡会）</p>

大田区 & 明治安田生命
連携事業

おおむすび
明治安田生命縁市場



大田区と明治安田生命は、令和4年3月30日に包括連携協定を締結し、様々な事業を展開しています。その一環として、大田区内の福祉施設が加盟し、利用者の工賃向上・社会参加を促進するおおむすび連絡会の販売会を開催します。

●開催日時
令和5年11月13日(月)
午前11時30分～午後2時00分

●開催場所
明治安田生命 品川支社
(品川区西五反田2-27-4)

●内容
大田区生産活動支援施設連絡会（おおむすび連絡会）加盟施設の自主生産品等の販売会
・当日は、焼菓子、雑貨、委託商品等の販売
・事前予約(※別紙参照)は、お弁当各種、焼菓子等
**おいしいクッキー、
素敵な雑貨が待ってるびよん。**

「おおむすび」
「大田区」「お客様」「お気に入り」の頭文字 3 つの「お」を結びデザインです。



©大田区

はねびよん

問合せ
おおむすび連絡会（大田区立志茂田福祉センター）
電話 03-3734-0763

～出展施設販売商品の例～

樹林館
自慢のクッキー等の焼菓子等(写真左からキャラメルクッキー・フレーククッキー)、クオリティーの高い縫製品等(花ふきん)をご用意しております。
他にも、はねびよん刺繍ポーチ等も施設で販売しております。





大森東福祉園
お肌に優しい手作りのハート形バスボムです。ラベンダー、レモングラス、ローズマリー、ローズの4種類の柔らかな香り&色が楽しめます。)をご用意しております。七宝焼アクセサリー(700円～)小瓶チャーム(星の砂 300円、光の砂 400円、力の砂 500円)※その他、大田区内施設のお菓子の販売も行います。

南六郷福祉園
染め布を使用したポーチ類や手ぬぐいハンカチ
本革のハンドルカバー
利用者さんの絵をプリントしたTシャツ
流木プランター



おおむすび商品の購入・販売協力

1 団体名

特定非営利活動法人 どこでもオリヒメ

2 活動内容

任意団体として令和3年から、NPO 法人として令和 6 年 3 月から活動しており、現在は 23 名所属し、大田区役所や各所会場などで月数日、活動しています。

(1) 主な活動内容

- 区役所にて大田区内の障害者福祉施設で作られた雑貨やお菓子の共同販売事業。分身ロボット OriHime を使ったリモートによる就労支援を同時に行っています。
- 年に数回分身ロボット OriHime や ZOOM 等の ICT 機器を使ったイベントを実施。リモート朗読のイベントは主催イベントの他、外部からの依頼も継続的にあり、好評いただいています。

(2) どこでもオリヒメについて

「どこでもオリヒメ」は、障がいや様々な事情により社会参画に不自由を感じている方（医療的ケアなどが必要でベッドから離れることが難しい障がいがある方）の可能性を広げるため、障害者就労支援施設の商品共同販売事業や分身ロボット「OriHime」を通じた就労、リモートによるイベント等を行い、在宅でも可能な就労や娯楽の創出に取り組むことを目的に活動しています。

(3) 販売協力

おおむすび縁市場において、分身ロボット「OriHime」も販売に参加し、おおむすびの販売の集客につながりました。今年度からは、区役所縁市場の運用業務を担っていただいています。

おおむすび商品の購入及び販売においては、区民活動フォーラムにて、購入いただいた商品を来場者へ販売していただきました。将来的には、おおむすび参加施設の利用者のパイロット(オリヒメ操作)従事についても事務局とともに検討をしています。

3 活動を通して

エピソードややりがい等

オリヒメで接客中のパイロット(脳性麻痺で大きな声での発声が難しく文字入力したものを音声で再生して接客してらっしゃる方)が、「今日のオススメはハロウィンのクッキーです！あと残り2つで一す！」と入力して可愛い声でアナウンス。すると、少し遠くにいた白杖の方がこちらに来てくださり「帰りにと思っていたけれど、残り2つという声でしたから先に買います！」と2つとも買ってくださいました。

病気に負けずリモートで接客する方の声が、目が不自由な方のお耳に届いて、障害のある方達の作ったクッキーがお手元に渡る。嬉しく、素敵な瞬間でした。こうした時間を持つと、自分が病気や怪我、加齢から外出困難になっても、まだ色々な事ができるのだと勇気をもらいます。

利用者の声・近所の方の声・職員の声・協力者の声

リモートによる就労支援の参加者より「働いた手当てで買い物ができる」「接客するのが嬉しい」などと喜んでいただいています。

また、同じ活動に取り組む仲間として親交が深まったり、自発的に助け合ったり、積極性を増すという前向きな効果が起こっていて、イベントでの朗読にも挑戦いただきました。努力～切磋琢磨～成果を実感できるチームで物事を作り上げる喜びも体験いただくことができました。

4 推薦者

大田区生産活動支援施設連絡会(おおむすび連絡会)

■ おおむすび販売会 分身ロボット「OriHime」



おおむすび縁市場等での おおむすび施設への販売協力 (販売商品提供等)

1	団体名
	長野県東御市 和屋-Canaux-(かのうやカナウ)
2	活動内容
	<p>(1) 和屋-Canaux-(かのうやカナウ)について 大田区の友好都市東御市の PR を事業目的としています。 おおむすび連絡会とは友好都市 PR と工賃向上の連携をしており、東御市の名産品の販売のほか、商品製造での作業連携などをしております。 大田区の友好都市である長野県東御市の農産物について、おおむすび連絡会加盟の区内障がい者施設での販売・加工等を JA 上田に相談したところ、JA 上田から和屋-Canaux-(かのうやカナウ)を紹介いただきました。 和屋自体も東御市を中心に長野県の物産販売をしながら、東御市等の魅力発信を行っており、農福連携の観点からも友好都市である大田区の障がい者施設との連携に尽力いただいています。</p> <p>(2) これまでの活動 販売会での東御市産品の販売支援 大田区手をつなぐ育成会 ミニチャリティバザー グランデュオ蒲田農福連携イベントでの販売など 商品製造での作業委託など</p> <p>(3) おおむすび施設への販売協力(販売商品提供等) 実際に区役所縁市場でのりんごジュース等の加工品をはじめ、他縁市場(せせらぎマルシェ縁市場等)でジャム等の加工品に加え、野菜・くるみ等の農産物を卸値で仕入れ、販売し、利益を施設の工賃としています。今では、お客様に商品の認知度も上がり、リピーターも増え、おおむすび商品の売上げにも寄与しています。</p>
3	活動を通して
	<p>○おおむすびのPR活動の一環としても、とても役立っています。</p> <p>○おおむすび商品の理解促進に貢献しています。</p> <p>○売上につながり、利用者の工賃向上及び社会参加に寄与しています。</p>
4	推薦者
	大田区生産活動支援施設連絡会 (おおむすび連絡会)

農福連携

9797 小さな村 × Omusubi

開催日 **8月11日 - 8月21日**

場所 **グランデュオ蒲田東館 2F**

全園7つの村が連携する「小さな村97TOKYOSHOP」と大田区層が連携する「おおむすび福祉会」が中心に連携する「ワフク連携プロジェクト」です。

8月17日(木)
11時~15時
NPO法人 樹林館
自主生産品販売会
おおむすび商品販売会

8月18日(金)
11時~15時
バスポムづくり
料金 150円
おおむすび商品販売会

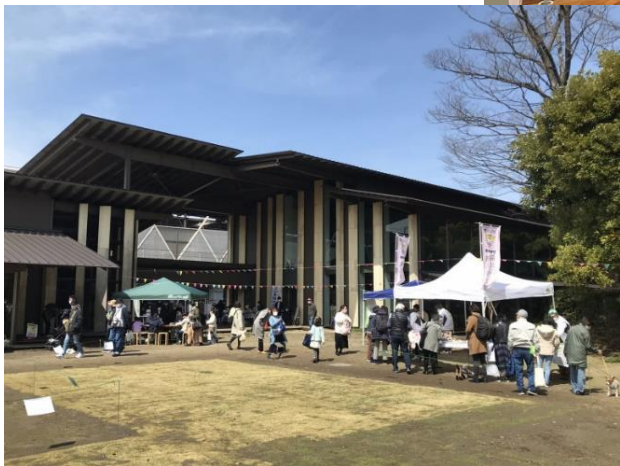
8月19日(土)
12時~21時
20日(日)
10時~17時
長野県東御市
東御市物産販売会
おおむすび商品販売会

8月21日(月)
11時~15時
分身ロボット OriHime の
ハンドメイドマーケット
どこでもオリヒメグッズ販売会
おおむすび商品販売会

この農福連携の取組みをシェアール東日本商業開発株式会社(グランデュオ蒲田)は応援しています。

GRANDUO

■ おおむすび販売会場での販売協力



■ せせらぎマルシェでの販売協力

自主生産品(おおむすび商品)の 開発協力

1 団体名

一般社団法人 東京ガラス工芸研究所

2 活動内容

(1) 東京ガラス工芸研究所との連携についての経過

蒲田切子の(有限会社)フォレストの鍋谷様からガラス工芸品(切子)の障がい者施設での製作についての提案があり、実際に連絡会のある志茂田福祉センターをご覧いただき、東京ガラス工芸研究所との連携についてご紹介を受けました。

東京ガラス工芸研究所は、ガラス専門の教育機関で、多くのガラス作家や技術者を養成しております。また、研究所内でワークショップを開催し、多くの方に体験等していただいております。ガラス工芸品の普及活動に努めています。実際に自主生産品製作を考える中、東京ガラス工芸研究所のガラス作品の制作過程に出る、ガラス廃材を使用することができないか、鍋谷様からおおむすび事務局へ提案いただきました。

(2) おおむすび商品の開発について

当初、おおむすび連絡会加盟施設が自主生産品化に向けて話を進めていましたが、施設内の体制等の問題もあり断念することとなりました。しかし、連絡会内他施設においてもアクセサリー等の製作をしており、再度、事務局で連絡会に募集をかけたところ、大森東福祉園が手を上げました。事務局が大森東福祉園と東京ガラス工芸研究所とミーティングを重ね、『何を作ればいいのか』『どのように作ればいいのか』『作製過程の安全性を担保するにはどのように扱えばいいのか』等々、技術的な加工方法を含め、アドバイス提供をしていただき、製品化が実現しました。大森東福祉園では、利用者とともにこのガラス廃材を利用しガラスアクセサリーなどのガラス工芸品を作製しており、自主生産品の売上向上に寄与しています。

(3) 今後の活動について

ガラス工芸品が軌道に乗りつつあるので、次のアクセサリー等の製作について、連絡会内で検討を進め、東京ガラス工芸研究所にアドバイスをいただきながら進めていきたいと考えています。また、連絡内では、アクセサリー等に特化した販売会等の実施も今後、検討していきます。さらに、おおむすび HP 等で東京ガラス研究所とのつながりを PR していくとともに、東京ガラス研究所においても同様に PR いただけるよう依頼していきたいと考えています。

3 活動を通して

○おおむすび商品の売上に貢献しています。

	○売上につながり、利用者の工賃向上及び社会参加に寄与しています。
4 推薦者	
	大田区生産活動支援施設連絡会(おおむすび連絡会)

**ガラス
アクセサリー**

東京ガラス工芸研究所さんとの
コラボレーションアイテムです！

- ・ガラスネックレス
- ・ショールピン
- ・髪留め…etc

～大切な方へのプレゼントにも喜ばれています！～
大森東福祉園で、利用者さん達とひとつひとつ真心こめて
手作りにて制作をしています☆



■ ガラスアクセサリー 髪留め



■ 販売風景



第40回大森東福祉園まつりに ボランティアで参加 (ゲームコーナー等を担当)

1	団体名
	特定非営利活動法人 大田区障がい者スポーツ指導者研究会
2	活動内容
	<p>平成13年に立ち上がり、現在28名で活動しています。</p> <p>○活動場所 月1回～2回 大森東福祉園、はぎなか園、新井宿福祉園 月4回 大田生活実習所 年3回 大田福祉作業所 その他 福祉園祭り参加、大田区事業参加、東京都事業参加、 シニアストレッチ体操(大森スポーツセンター)</p> <p>○活動日 火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、日曜日</p> <p>(1) 主な活動内容</p> <p>○平成13年～ 障がい者や高齢によって障害を伴ってしまった方が健康維持(体力増進)ができるよう、又地域とのコミュニケーションが取れるよう、各福祉園には出前式スポーツ提供を、自宅にいる障がい者や高齢者には楽しく体が動かせるストレッチ体操、ニュースポーツを提供しています。</p> <p>○令和3年から現在まで障がい者スポーツ教室開催 (大田区委託事業)</p> <p>○自主事業(ストレッチ体操、大田区玉入れ競技大会)</p> <p>○大森東福祉園にて運動プログラムの指導(毎月第2木曜日)</p> <p>(2) 大森東福祉園まつりでの協力</p> <p>○開設以来の運営方針「この街に生きる」をテーマとする「大森東福祉園まつり」は、地域の福祉交流を図る大切な行事となっています。</p> <p>○NPO法人大田区障がい者スポーツ指導者研究会の皆様は、長年にわたり、「大森東福祉園まつり」の開催目的に賛同して下さり、専門的なスポーツ指導の枠を超えて、地域交流行事の運営をボランティアとして支えて下さっています。</p> <p>○第40回のおまつりでは、ゲームコーナーやヨーヨー、スーパーボールすくいなど、地域の子供達が楽しめる企画を担当して下さい、交流行事を大いに盛り上げて下さいました。</p>

3 活動を通して

団体会員の声

- 障がい者や高齢によって障がいを伴っている方々が、スポーツによって笑顔で体を動かしている時、スタッフもみんな笑顔になります。
- 障がい者の家族の方々も一緒にスポーツ参加出来ることが良さです。
- 先日車椅子の参加者の方から、スポーツは諦めていましたが自分がスポーツに参加出来たことが嬉しかったと涙ながらに言われました(スタッフ全員障がい者と関われることに感謝)。
- 障がい者の児童が会場までたどり着くのですがなかなか体育館に入れなかったことがありましたが、時間と、日数をクリアして体育館に入り一緒に動けた時は良かったと思いました。

利用者の声・近所の方の声・職員の声・協力者の声

- 各福祉園で、私どもの団体をスポーツノーマンさんと言われています。各福祉園に行くことによって、スポーツをすることを認識してもらっています。主にリズム体操とストレッチ体操ですが、場所によってニュースポーツを提供指導しています。職員の方々も今人気のスポーツを利用者さんと一緒に楽しんでいます。

4 推薦者

大田区立大森東福祉園

■ 大森東福祉園まつりにボランティアで参加



はねびん

第40回大森東福祉園まつりに ボランティアで参加 (食堂・喫茶コーナーの販売を担当)

1 団体名	簡野学園 羽田幼児教育専門学校
2 活動内容	<p>令和6年4月から、担当教員2名、学生15名で活動しています。 ボランティアのお話しがきたら、都度うかがっています。また、学内で事前事後学習をしています。 学内での活動日は毎週水曜日です。その他、活動に合わせて動いています。</p> <p>(1) 主な活動内容 ボランティア活動へ参加の他、特色のある保育施設を見学するなど、学内だけではできない「経験から学ぶ」ことを意識して活動を行っています。 令和6年度は、大森東福祉園でのお祭りのお手伝いを始め、児童養護施設で子どもたちにプログラミングを教える活動や横浜のホスピスでのボランティア活動をしました。また、特色のある幼稚園や保育施設等に見学へうかがいました。</p> <p>(2) 学校について 本校は大田区にある保育者を養成する専門学校です。学園としては、創立80周年を越え、「女子教育と保育」に注力してまいりました。 本校では実践的に保育を学び、卒業後は保育の現場で活躍できる人材育成に努めています。隣接するふぞく幼稚園をはじめ、大田区内に6園のふぞく保育園（すべて認可保育園）があるため、常に保育の現場を身近に感じながら実習や授業に取り組んでいます。特にインターンシップというカリキュラムの中では、入学直後からふぞく幼稚園で1年間、週に1回、同じクラスで実習ができることが本校の大きな特徴です。 現場で多くを学びながら授業を受けることで学習の往還ができ、より深く理解することができます。</p> <p>(3) 大森東福祉園からのメッセージ 羽田幼児教育専門学校様とは、保育実習などで以前から交流があったこともあり、今回の大森東福祉園まつりのボランティアとしてご協力頂きました。 学生の皆様には、食堂・喫茶コーナーの販売を担当して頂きましたが、注文が重なり混雑する中、明るい笑顔で丁寧に来客者の方々をもてなして下さいました。</p>
3 推薦者	大田区立大森東福祉園

■ 大森東福祉園まつり ボランティア参加の学生の様子



盆踊り大会での 障がい者施設の出店協力 (主催:馬込大盆踊り大会実行委員会)

1	団体名
	馬込大盆踊り大会実行委員会
2	活動内容
	<p>(1) 馬込大盆踊り大会について 馬込大盆踊り大会は、今年で開催 29 回目を迎えました。 盆踊りの実施を通じて老若男女様々な世代の人々が一堂に集まり、ふれあい、交流することで、馬込地区の住みよいまちづくりと更なる発展をめざしています。 毎年 7 月下旬に開催しており、以前は馬込第三小学校で行っていましたが、改築工事中のため、令和5年度から貝塚中学校で開催しています。</p> <p>(2) これまでの活動 今年度は7月 20 日(土)・21日(日)に開催しました。 盆踊りや町会による模擬店の出店に加え、中学校和太鼓部による演奏、キッチンカーによる販売や手持ち花火お楽しみ会等様々なコンテンツを実施しました。 その中で、社会福祉法人大田幸陽会「まごめ園」は、模擬店にてまごめ園で作った焼き菓子等を販売し、障がい者の方がその製造・販売に携わり、お祭りに参加しました。</p> <p><第 29 回は主に以下の催しを実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ○盆踊り(アンパンマン音頭やすっきり音頭等の演目を実施) ○大田区立貝塚中学校民部和太鼓部の太鼓パフォーマンスの実施 ○町会による模擬店の実施 ○社会福祉法人「まごめ園」によるお菓子等の販売 ○(第 29 回新規企画)キッチンカーによる販売、手持ち花火お楽しみ会の実施 <p>(3) まごめ園からのメッセージ 第 29 回馬込大盆踊り大会に、まごめ園が参加しました。 地域の一員として、障がいの有無にかかわらず地域活動を実施していただき、イベントの参画により、地域住民との交流、障がい理解の促進に繋がっています。</p>
3	活動を通して
	<p>盆踊り大会の実施を通して、地域の子どもたちの笑顔にふれることができ、また、様々な団体が協力することで充実したお祭りとなり、やりがいとともに地域の活性化につながる催しとなったと考えております。</p>

4 推薦者

まごめ園

■ 馬込大盆踊り大会 まごめ園出店



はねびさん

聴覚障がいの理解啓発活動

1 団体名	
	手話サークル大田'90
2 活動内容	
	<p>(1) 聴覚障がいの理解啓発</p> <ul style="list-style-type: none">○サークルについて<ul style="list-style-type: none">・1990年の創立以来、聴覚障がい者と聴者が対等の立場で活動する、本当の意味での“共に歩む活動”を実践しています。・活動日時 毎週水曜日 10:00～11:30活動場所 障がい者総合サポートセンター さぼーとぴあ 六郷地域力推進センター会 員 53名○講演会<ul style="list-style-type: none">聴覚障がいのある講師やその関係者を招いて講演会を開催し、聴覚障がい者の暮らしやそれを取り巻く社会状況を理解しながら、手話技術の向上に努めています。教える立場の者はおらず、会員同士がお互いに学び合う環境にあります。○企画部<ul style="list-style-type: none">年3回、聴覚障がいのある会員と聴者の会員が共に楽しめる行事を企画して交流を深めています。○新聞部<ul style="list-style-type: none">毎月、サークル誌を発行して聴覚障がいについての情報やサークル内の活動を文字化して提供しています。 <p>(2) 地域活動</p> <p>参政権保障委員会と災害対策委員会でも大田区聴覚障害者協会などの団体と共に活動しています。そして地域行事にも可能な限り参加協力して、地域への手話の啓蒙と会員相互の理解を深めています。</p>
3 推薦者	
	大田区聴覚障害者協会

■ 手話講演会の様子



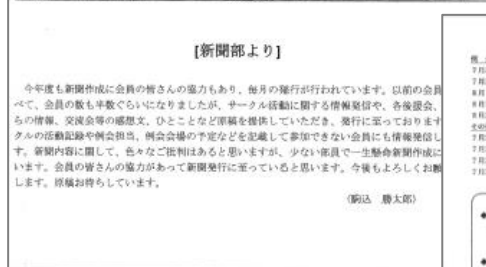
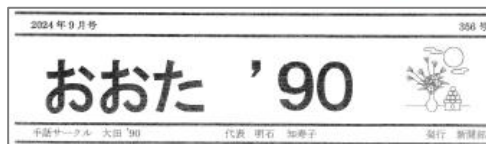
5/29 さぼーとぴあにて開催
講演会テーマ
「手話歌で人と人のかけ橋に！常に Together の心で」
参加者数:41名



7/3 六郷地域力推進センターにて開催
講演会テーマ
「ドラマの裏話・手話の魅力とは」
参加者数:39名



はおびよん



活動記録

7月24日 (8)	林 「こまはのまのん」	講師: 阿部 選手: 1名
7月31日 (8)	田中 「グループで協力して手話を修めよう！」	講師: 24名
8月7日 (8)	藤田 「お話をまがらう」	講師: 24名
8月14日 (8)	岩坪	
8月21日 (8)	石渡 「次期手話自由会員募集しよう」	講師: 22名
8月28日 (8)	高野	
9月4日 (8)	高野	
9月11日 (8)	「とっぴあの手話講座」 ボランティア	講師: 阿部、阿部、阿部
9月18日 (8)	新田	講師: 阿部、阿部、阿部
9月25日 (8)	新田	講師: 阿部、阿部、阿部

～「さぼーとぴあ」及び「任意型」週2回開催のご案内～
 ◆「さぼーとぴあ」では手話講座の修習を受け付けています (2024/10/1～11/3日曜開催)。
 講師は手話講師がいます。
 月～金 9:30～10:00 土、日、祝日 9:30～17:00
 料金は 6,000円～7,500円 TEL: 07-228-9333
 ◆「任意型」週2回開催。のべ11回は、今までお知らせ済みです。
 毎週月曜日 (18日を除く) 13:00～16:00

お知らせ

日付	開催内容	3分スピーチ	会場
9月4日	例会	3分スピーチ	会場
9月11日	阿部 千代子 講演会	六郷第一教会堂	
9月18日	守屋 心子 講演会	六郷第一教会堂	
9月25日	藤村 翠	さぼーとぴあ講堂	

2024年例会は、2日・9日・9月27日・10月11日・10月25日・11月8日・11月22日・12月6日・12月20日
 12月の例会は、6日・27日・28日・31日 (18日・19日・20日・21日・22日・23日・24日・25日・26日・27日・28日・29日・30日・31日)
 ※「無文字手話もよう」の巻は、「任意型」週2回開催

■ サークル誌を発行

「おおむすび」

大田区生産活動支援施設連絡会
(おおむすび連絡会)

障がい者福祉施設の商品

「おおむすび」

このロゴマークには、「(お)大田区」の「(お)お客様」に私たちの商品を「(お)気に入りに」していただき、末永くご愛顧いただきたいという想いを込めて、3つの(お)と縁起の良い水引の「結ぶ」をイメージして作成しております。

はねびん



平成28年度に大田区内障がい者福祉施設の商品(自主生産品)販売促進を図る観点から、多摩美術大学の学生とのコラボにより誕生したロゴマークです。

「おおむすび」と読みます。「大田区」の頭文字「O」の丸い形状から「O→円→縁」と、人と人のつながりのきっかけになるようにとの願いが込められています。

現在では、区内障がい者福祉施設利用者の工賃(給料)向上・社会参加を促進する取り組みを「おおむすび」と位置づけています。



障がい者福祉施設の商品(自主生産品)を

購入してみませんか

障がい者福祉施設では、様々な商品(自主生産品)を販売しています。

商品の販売収入から必要経費を引いた収益の全額が、利用者の方への工賃(給料)として支払われます。より多くの方から求められる商品を作ることで、利用者の工賃(給料)向上・社会参加を促進していきます。

利用者の手で一つ一つ丁寧に作られた商品を一度、手にお取りください。

商品の購入・販売に関するお問い合わせは、下記窓口にご連絡ください。

大田区生産活動支援施設連絡会(おおむすび連絡会)事務局
(大田区立志茂田福祉センター)

電話 :03-3734-0763

FAX :03-3734-0797



おおた みんなのつどいプロジェクト表彰実施要綱

令和6年4月10日

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

(目的)

第1条 この要綱は、おおた みんなのつどいプロジェクトの取組の一つとして、障がい理解を取り入れた地域活動等（以下「地域活動」という。）を表彰すること（以下「表彰」という。）により、障害者基本法（昭和45年法律第84号）第7条に規定する地域社会における共生、差別の禁止等の基本原則に関する区民の関心及び理解が深まることを目的とする。

(事業内容)

第2条 表彰の対象となる地域活動は、障がいのある人もない人も笑顔になるものであり、かつ、大田区内の各地域において障がい理解を実践的に取り組んでいる内容とする。また、地域活動の内容は、広く周知できるものでなければならない。

(対象外の活動)

第3条 次に掲げる地域活動は、対象外とする。

- (1) 営利目的の活動
- (2) 宗教、政治活動

(応募資格)

第4条 大田区内で活動実績がある団体、企業等とする。

(応募方法)

第5条 応募は、「おおた みんなのつどいプロジェクト表彰応募用紙」（別記様式）に地域活動の内容を記入して提出するものとする。応募にあたっては、自薦他薦を問わない。ただし、他薦の場合、地域活動主体からの同意を得たものでなければならない。

- (1) 地域活動の実施前に応募する場合は、開催の案内等を添付すること。
- (2) 地域活動の実施後に応募する場合は、事業の案内、写真等実施したことがわかる資料を添付すること。ただし、応募及び写真の添付等について参加者等から同意を得なければならない。

(3) 提出先

事務局（大田区福祉部障害福祉課）

(募集期間)

第6条 令和6年5月1日から令和6年9月30日までとする。

(審査、表彰)

第7条 応募のあった地域活動の中から「おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会」（以下「実行委員会」という。）で審査の上、先進的な取組などを障害者週間に表彰するものとする。

(その他)

第8条 その他必要な事項は、実行委員会が別に定める。

付 則

この要綱は、令和6年4月10日から施行する。



みんな笑顔
になるぴよん



作：志村 雅人
作品名：ミミズク

障がい者文化展

12月18日(水)から12月23日(月)
大田区立池上会館
1階展示ホール
(大田区池上1-32-8)

おおた みんなのつどいプロジェクト
実行委員会
令和6年12月